

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	幼児と環境				
担当者氏名	白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

幼稚園教育要領に示された保育内容領域「環境」のねらい及び内容について理解を深める。幼児を取り巻く環境について考察やグループワークを行い、子どもと環境について深い学びについて検討を行う。子どもが主体的に活動するための環境の整え方や、保育者の援助の在り方について概説する。

《授業の到達目標》

- 1 領域「環境」のねらいと内容を理解する。
- 2 幼児が豊かに発達するために環境との関わりと保育者の援助の在り方について理解する。
- 3 保育実践の展開の仕方や環境構成を理解する。

《成績評価の方法》

- 定期テスト60%
 発表・授業態度など20%
 提出（プリント・課題・レポート）20%

《テキスト》

特になし

《参考図書》

幼稚園教育要領解説（平成30年3月）文部科学省 フレーベル館
 保育所保育指針解説（平成30年3月）厚生労働省 フレーベル館
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

《授業時間外学習》

提示した課題に対して、次回までに調べたりして予習を行う。
 提示した課題を作成し、提出する。

《備考（教員経験の有無）》

保育士、幼稚園教諭、保育教諭として勤務した経験がある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の内容と計画
2	幼児の育ちと領域「環境」	幼稚園教育要領における領域「環境」の基本的理解
3	幼児を取り巻く環境	現在社会における幼児を取り巻く環境について理解をし、望ましい環境について考察を行う。
4	季節を大切にした環境について①	四季を活かした活動や取り組みについてグループで考える。
5	季節を大切にした環境について②	演習したことを、発表し、理解を深める。
6	自然に親しみ、植物や生き物に触れる	子どもと自然や植物、環境としての構成の仕方について
7	ものや道具に関わって遊ぶ	ものや道具と子どもたちがどのように関わっているのかについて
8	文字や標識、数量や図形に関心を持つ	遊びや環境の中で培われる文字の理解や数量理解について
9	室内環境を考えてみよう①	子どもが主体となって過ごせる室内環境についてグループで考える。
10	室内環境を考えてみよう②	演習したことを発表し、理解を深める。
11	園庭環境を考えてみよう①	子どもが主体となって活動できる園庭環境についてグループで考える。
12	園庭環境を考えてみよう②	子どもが主体となって活動できる園庭環境についてグループで考える。
13	異年齢保育の環境について	異年齢保育における子どもたちの育ちについて
14	環境としての保育者の役割	幼児が豊かに発達するために保育者の援助の在り方について
15	まとめ	授業の総括